



NPO HELP PAPER

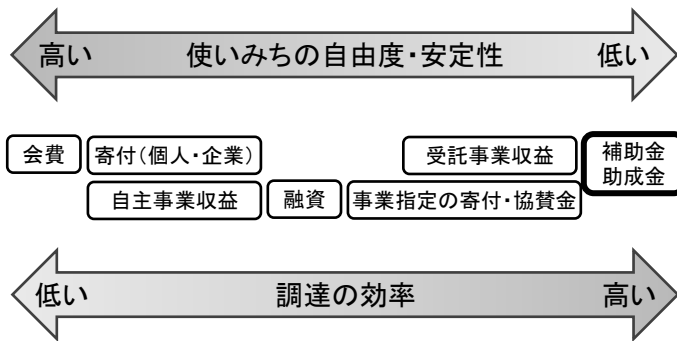
【市民活動のヒント】

Vol.4:助成金を獲得したい！！

資金…。市民活動団体にとって、いつもつきまとう課題です。共通する悩みである資金調達を克服する有力な手段のひとつが助成金。今回は助成金獲得の「ヒント」をお伝えします。

助成金とは、特定のテーマや目的にかなう活動の成長を助けるために提供される資金。民間企業をはじめ、国や市などの地方自治体、財団や基金など、市民活動団体による社会貢献活動に対して助成活動を行っています。助成金を申請したいけど「どのように書けばいいかわからない」「難しいよね」といった声がよく聞かれますので、今回は、はじめて助成金を申請する際に、何を検討すればいいかをまとめました。

●その事業、助成金に適している？●



図：NPO資金源 2006年日本NPOセンター/まちづくり情報センターかながわ編『知っておきたいNPOのこと(資金編)』

市民活動の資金源は「会費」「寄付」「助成金」「事業収益」などがあります。その中で助成金は、調達効率は良いですが、継続性が期待できず、事業費に限られるなど、運営費は出ないことがほとんど。やりたい事業が助成金に適するのかがよく検討する必要があります。

短期的で一定の成果が求められる事業や試行性の強い事業が向いています。

●助成金申請の前にまず検討●

◆自分たちの活動目的と助成金の目的は同じ？

助成金には必ず目的があり、目的に合わない事業は対象になりません。最初に確認！

◆助成金が終わった後を考えて！

助成金は単年度や単発のものが多く、助成事業が終わると団体の活動が縮小してしまうかも。助成事業が無くなる2年後や複数年後を見据えた活動の展開を検討することが大事です。

◆事務量の増加に対応できる？

助成事業の実施には、申請書の作成や報告書の作成など、手間がかかり、これまで取り組んでいた本来の活動がおろそかになる可能性も…。事務量が増えても対応できるのか、よく考えよう。

◆不採用になっても深刻にならず！

助成金は競争率が高く、不採用になることも多いと思っていてください。決してこれまでの活動が否定されるわけではありません。不採用となった場合でも事業展開に影響がないように注意。

編集
発行

島田市市民活動センター
(市民活動支援業務：NPO法人クロスメディアしまだ)

島田市本通三丁目6-1 (島田市地域交流センター「歩歩路」内)
0547-33-1550

市民活動センターでは会議室などの施設利用に加えて、市民活動団体やこれから活動を始めようとする皆様を支援の場です。

【閉館】年中無休
※年末年始(12月29日～1月3日)を除く
【時間】9:00～22:00
※市民活動センター利用21:30まで

【相談受付】
原則週3日(月・水・金)
10:00～15:00
※相談希望の日時はお気軽にお問合せ下さい。

●申請書作成のヒント●

助成金の申請書を書く際には、お金の出し手は何を期待しているのか考えることが大切。助成団体が何を求めているのかを読み取り、審査員から高い評価をもらうため選考基準との適合性を確認しましょう！

申請書は
熱い想いを伝える
『ラブレター』
独りよがりでは、
相手に想いが
伝わらないよ！

◆募集要項をしっかりと確認！

募集要項には、助成金の目的や選考基準などのヒントが書かれています。

特に助成金の用途は制限されていることが多いです。人件費や家賃などの管理費に使えないことも多い。

◆読み手にわかりやすい文章を

審査員が専門家とは限りません。専門用語の羅列は避け、初心者の方でも理解できる内容を心がけましょう。また、申請書はエッセイではなく、事業計画書なので、美しい文章は不要。長い文章であれこれ書くと、テーマがぼけてしまうことも。時には切り捨ててポイントを絞ることが大切。

◆予算書の算出根拠は明確に

予算書は第一に助成金の対象となる費用か否か、加えて助成金額を決定するための根拠にも。審査員が合理性を理解できるように記載しよう！例えば「広報費一式〇〇円」ではなく、「チラシ代 単価〇〇円×〇〇通、郵送代 単価〇〇円×〇〇通」と算出根拠を明確に。

●助成金を獲得してからが大変●

◆助成事業は計画どおりに

助成金の交付決定通知にも注意が必要。助成団体から事業内容や事業費の変更などの制限が記載されているケースがあります。これをないがしろにすると、助成金交付の取り消しや返還を求められるなどトラブルに。助成事業の内容を変更せざるを得ない場合は、必ず助成団体へ相談を。

◆事業報告書は面倒がらずに！

事業終了後は、助成事業の成果や実際に使った経費を整理して、事業報告書として提出する必要があります。大変な作業ですが…、事業を通じて得られた成果を検証し、団体の活動を振り返る良い機会になるはず。面倒がらずに積極的に取り組みましょう！

「助成金貧乏」なるべからず

使途に即した使い方の管理や、決算書の作成も簡単なものではありません。しかし助成金事業の管理や報告書作成に人材、時間を使いすぎてしまう「助成金貧乏」にならないような申請をしましょう。もらった助成金以上に人件費、時間を使ってしまうのは、本末転倒です！

<助成金情報を集めるアンテナを張ろう！>

助成金の情報は、「新聞の誌面」や「広報紙やポスター」など様々な形で流れてきます。現在、どんな助成金が募集中で、いつ締切なのか。この情報は常に気を配っていなければなりません。助成金に関する情報は、リアルタイムで反映されるWEBサイトで収集することが有効。また、同じ助成内容でも、年度ごとに重視するテーマが変わる場合もあるため、丁寧に調べることが大事。情報を集めるアンテナを張り巡らしながら、幅広く情報を集める工夫をしてみてください。

WEBサイトを
有効に活用！
丁寧に調べよう！